

節電

低予算

簡単工事

遮熱カーテンで夏の節電!

遮熱カーテンなら、おトクで簡単に
オフィス内の**温度上昇の抑制**、
冷房の節電ができます!

真夏の
赤外線・紫外線を
カット



オフィス内の
冷房消費
電力の抑制



オフィス内の
温度上昇の
抑制

遮熱カーテンの7つの特徴

- 1 室内の温度上昇を抑制します。
- 2 冷房消費電力の抑制につながります。
- 3 適度な光を取り入れます。
- 4 低予算で納品できます。
- 5 簡単工事で、納品できます。
- 6 ブラインドの併用で効果アップにつながります。
- 7 冬季は、逆にカーテンを開けて赤外線を取り入れられます。

直射温度の遮熱効果はガラスのみと比較して

最大 **14.6°C** 差です。

※詳細は裏面をご参照ください。(自社算出データ)

遮熱カーテンとは

必要な光を適度に取り入れながら、同時に夏の強い赤外線を遮断する効果があります。

特徴

遮熱カーテンは、室外側になる生地表面部分に日光を反射しやすいブライト糸を編み込んだり、織り込んだりすることで、光の進入を軽減する構造になっています。よって、赤外線と同時に紫外線や可視光線も軽減してくれます。



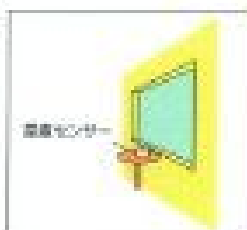
参考：3層構造の編み物遮熱カーテンの断面図

室内の温度上昇の抑制

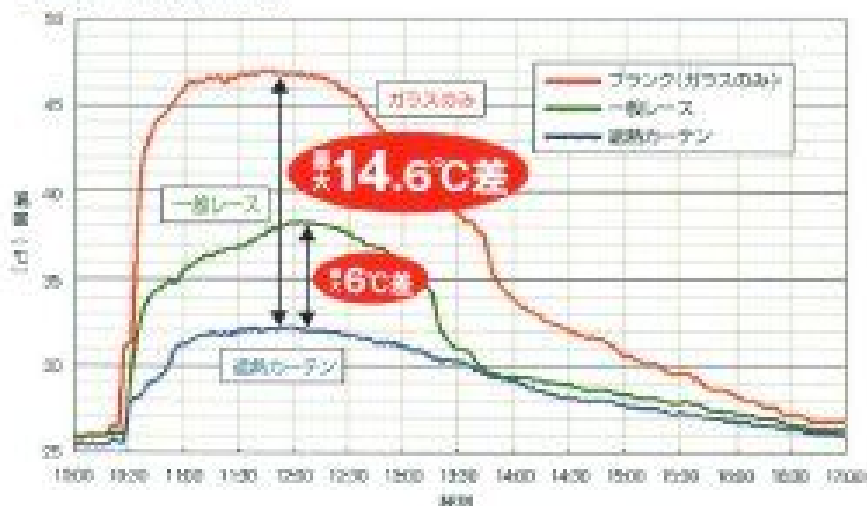
下記条件のもと、温度センサーを設置し、遮熱カーテンの効果測定した結果、右のグラフのような遮熱効果を得ることができました。遮熱カーテンをつけた場合と遮熱カーテンを開放した場合では、最大で14.6℃の温度上昇抑制効果が出ていることがわかります。

<温度センサー設置条件>

実施期間：2011年5月某日
10:30～17:00
当日の気温：最高気温25.1℃
最低気温14.3℃
当日の天気：曇り



<遮熱カーテンの遮熱効果>



※データはあくまでも目安で参考程度とし、算出してあげたものではありません。

オフィスへの施工例

- 一年を通じて適度な光を取り入れます。
- 快適な仕事環境を確保できます。



オフィスに応じて
様々な取り付け方法が
可能です。
(詳しくはお問い合わせください)



上部パイプ差し(縦縞い)